

第82回マチコミリサーチ 『コロナ禍で変わる!! 新しい働き方について』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『コロナ禍で変わる!! 新しい働き方について』のアンケートを実施いたしました。

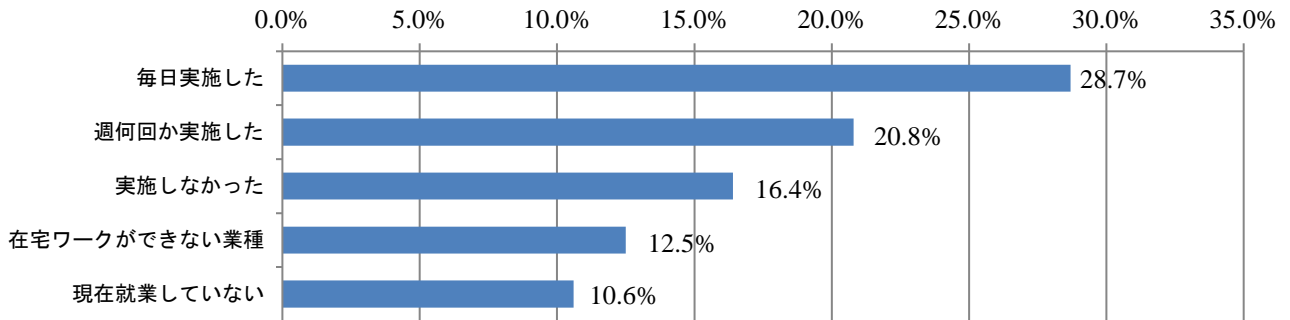
<調査概要>

調査期間	2020年12月3日(木)~12月8日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校のマチコミメール会員
調査対象数	1,992,603名
有効回答数	25,244件

<質問項目>

1	今年4月~6月に緊急事態宣言が発令されましたが、在宅ワークを実施しましたか?
2	在宅ワークを実施しての感想を教えてください。(実施していない人は、在宅ワークのイメージを教えてください。)
3	今、仕事と子育てを両立できる時間の余裕がありますか?
4	家族との時間を増やしたいと考えますか?
5	職場での煩わしい人間関係がありますか?
6	通勤時間0分で家族との時間が増える仕事があればチャレンジしたいですか?

質問1:今年4月～6月に緊急事態宣言が発令されましたが、在宅ワークを実施しましたか？



在宅ワークを実施したとの回答は合計で2割に満たない結果となり、「3密」を避けた在宅での働き方は、まだまだ浸透していない状況が浮き彫りとなりました。また、「在宅ワークができない業種」との回答が約半数を占め、在宅での働き方が現実的ではない方が多いようです。

質問2:在宅ワークを実施しての感想を教えてください。(実施していない人は、在宅ワークのイメージを教えてください。)

多かったのは以下のような回答でした。

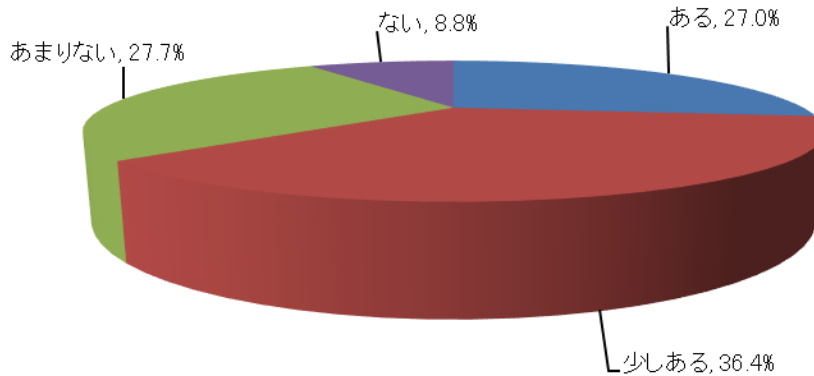
回答数：15,406件

- ・メリハリをつけるのが難しい
- ・自由に使える時間が増える
- ・感染リスクを抑えられる

その他にも、つい頷いてしまうようなコメントが多数挙がりましたので、いくつかご紹介します。

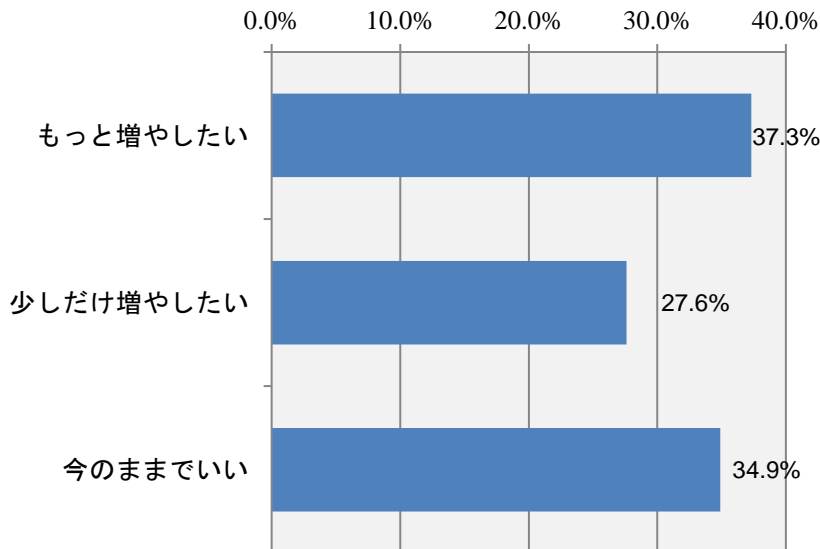
- ・家で子どもと一緒にいられて安心した。
- ・新しい生活様式に合った働き方もあるんだと実感しました。
- ・業種的にやれる業務があまりない
- ・業務は進められたが、他者の進捗状況が判らずイライラした。通勤が無いのは快適で、服装もラフだったので楽だった。
- ・開始時刻、終了時刻が気になった
- ・学校等も休みになり家族も在宅であるような状況であれば、家事も仕事も子供の面倒もと、母親の負担が重すぎると思う。
- ・毎日在宅だとコミュニケーションの不足、運動不足を感じた。週に数回程度の在宅が理想的。
- ・室内に籠りきりで、精神が参っている人もいと聞く。

質問3: 今、仕事と子育てを両立できる時間の余裕がありますか？



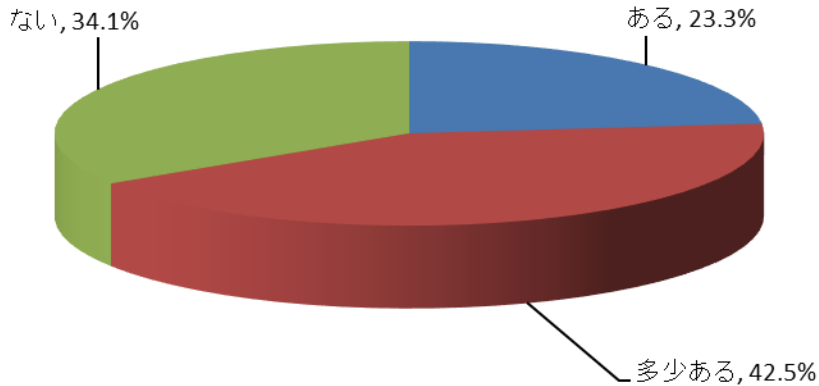
「ある」「少しある」を合わせると6割を超える結果に。一方、「あまりない」「ない」と回答された方は合計で36%。仕事と子育てを行う毎日、時間が足りないと感じている方も一定数いらっしゃる実態が見えてきました。

質問4: 家族との時間を増やしたいと考えますか？



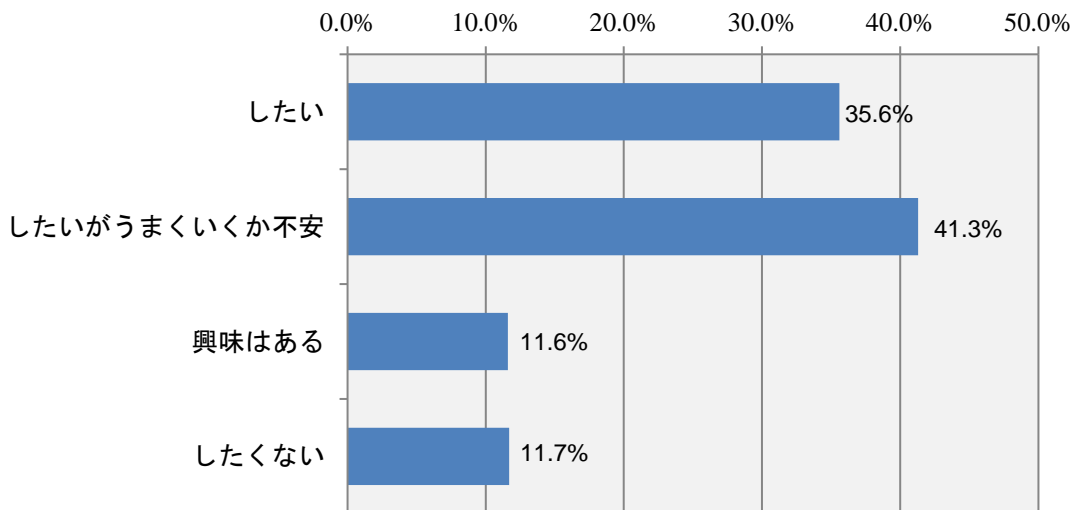
家族との時間を今よりも増やしたいと考えている方が6割以上いらっしゃる事が明らかに。外出自粛の傾向が続いているため、家族で過ごす時間が確保できている方もいるかもしれませんが、これを機に毎日の時間の使い方を見直してみてもいいですね。

質問5: 職場での煩わしい人間関係がありますか？



「ある」「多少ある」を合計すると6割以上と、職場の人間関係において何かしらストレスを感じている人が多いようです。職場へ行くことが減ると顔を合わせる機会も少なくなるので、関係性を見直せたり、煩わしさから解放されるきっかけになるかもしれませんね。

質問6: 通勤時間0分で家族との時間が増える仕事があればチャレンジしたいですか？



在宅ワークが推奨されるようになり、自宅でできる仕事があればやってみたい、興味があると思っている人は多いようで、合計すると8割近くの方が関心を持っている様子です。「新しい生活様式」にあわせて、新たな働き方にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

まとめ

アンケートの結果から、現在の働き方では在宅ワークにシフトすることが難しいが、在宅での働き方にも興味を示している方が多い傾向が見えてきました。

今年春の緊急事態宣言や全国一斉休校に伴い、外に出る時間と家で過ごす時間のバランスが大きく変化したため、これまで毎日忙しく仕事や家事・育児をこなしてきた方々も、今の生き方や働き方を見つめ直した方は多いのではないのでしょうか。

今回のコロナ禍によるパンデミックは日常生活を一変させ、今まで当たり前だった日常がこれから戻ってくるかどうか、いつまで不安な日々が続くのか、まだまだ先行きが不透明な状況です。仕事とプライベートを含め、時間の使い方や働く場所などを「新しい生活様式」に合わせたものへシフトしていく良いタイミングかもしれません。

今回のアンケートが、皆さまの新たな働き方を考える後押しとなりましたら幸いです。